

令和5年7月22日 10時開催

豊川北小タウンミーティング 当日の質疑応答 に関する回答

※内容を「①すぐできるもの」「②時間がかかるもの」「③できないもの」に分類し、「分類」欄に①～③の番号を記入してください。

No.	内容	分類	回答
1	国文都市4号線は勝尾寺への旧参道であり、良い眺めもある。今後、勝尾寺を観光地として盛り上げていくのであれば、国文都市4号線から勝尾寺への旧参道も活用すべきである。	②	【地域創造部 箕面営業室】 本市の観光資源、地域の魅力を全国に情報発信することを目的に、令和6年度にジャパンエコトラックに登録し、令和5年度は新たなハイキングコースやサイクリングコースを設定し、マップを制作します。 コース設定にあたっては、いただいたご意見も参考にいたします。 なお、勝尾寺までの旧参道は、箕面ハイキングマップ等でも紹介しています。
2	箕面市全体として、農地が減っていると感じており、市長の施策である「みどりまちづくり」とは逆行しているように感じている。また、30代から40代の親世代の間では、「個人単位で畑をやりたい」という意見が多くあるため、既存の畑を活用した取り組みを考えてほしい。 市長の施策紹介スライドには農業公社の内容が全く含まれておらず、市が農業振興へ力を入れていないように感じる。	②	【みどりまちづくり部 農業振興室】 ご指摘の通り本市では、年々農地が減少している状態です。これは種々の理由により農地所有者が農地でない土地に転用されているため、市が施策として農地を減少させているものではありません。 本市では、農地を農地として維持していきたいが、高齢、病気、後継者がいないなどの理由で農業が継続できない方を支援するために、農地を借り受け、農業公社が耕作することで、農地を保全し、可能な限り、まちなかのみどりが減少しないように努めています。 個人で畑をする場合には、農地の取得や貸借にあたり、農業経験等の要件が必要であるため、誰でも可能ではありません。希望される場合は、要件など詳しくご説明しますので、農業振興室にご相談ください。 また、市内には、大阪北部農業協同組合や民間企業が運営している貸し農園がありますので、小規模農業で良い場合には、そちらをご利用ください。 農業公社の状況は、借り受けた農地を耕作し、箕面産野菜を学校給食へ出荷し、地産地消に貢献しています。また、新規就農者を育成・輩出し、市の農業振興の一助を担っています。
3	子育て支援策について0～2	—	【子ども未来創造局 保育幼稚園利用室】

	<p>歳児の保育料無償化及び給食費の無償化について、他市町村でも実施している無償化のため、箕面市でも検討してほしい。また、給食の無償化を含めた大阪市が掲げている8つの無償化についても、箕面市でも検討してほしい。</p>		<p>保育料は、令和元年10月の国による幼児教育の無償化により、全ての3～5歳児及び市民税非課税世帯の0～2歳児は無償化され、また0～2歳児の課税世帯においては、就学前のきょうだいの人数により、第2子半額、第3子以降は無料とされています。</p> <p>現在、市独自の取り組みとして国が所得階層を8区分としているところ、本市では20区分に細分化して負担軽減を図るとともに、多子世帯の負担軽減策の拡大や給食食材費に関する負担軽減を実施しており、今後も社会情勢や保護者ニーズに応じて子育てに関する負担軽減策等について検討していきます。</p> <p>【子ども未来創造局 学校給食室】</p> <p>市立小・中学校に在籍している児童生徒全ての学校給食費を恒久的に無償化する場合、市として新たに毎年6億円以上の財源を安定的に確保する必要があり、本市においてはこの財源をどう確保するかという点が大きな課題です。恒久的に持続可能な学校給食費の無償化の実現可能性について、今後も検討を深めていきます。</p>
4	<p>高齢者や弱者への施策について高齢者等の弱者に対する施策が希薄である。一例だが、箕面大相撲万博場所について、デジタル機器に関する知識が必要な申込方法を導入しており、高齢者が申込を行うことを想定できていない。市が取り組んでいるデジタル改革は、高齢者にとっては辛いものとなる可能性を考えてほしい。</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>①</p>	<p>【子ども未来創造局 保育スポーツ室】</p> <p>箕面大相撲万博場所に関しては、民間主催の事業であったため、申込方法がインターネット申込みのみの取扱いとなっていました。市主催の事業に関しては、窓口申込や、電話申込み、インターネット申込みなど、複数の申込方法にて受け付けています。</p> <p>【子ども未来創造局 中央図書館】</p> <p>図書館では、デジタル機器の利用に慣れていないかたを対象に、月に1回「はじめてのスマートフォン体験講座」を開催し、スマートフォンの基本操作や便利な使い方を体験いただいています。電子図書館などのデジタル機器を利用するサービスをより多くのかたに利用いただけるよう、サポートを行っています。</p> <p>【総務部 行政改革・DX推進室】</p> <p>箕面市では、「行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例」を制定するなど、行</p>

			<p>政手続のオンライン化を進めています。</p> <p>より多くのかたにオンライン申請を利用してもらえるよう、スマートフォンによるオンライン申請の方法に関する講座を開催しています。引き続き、オンライン申請の利用方法について、気軽に相談・学習できる機会を提供していきます。</p>
5	<p>自治会館の修繕について</p> <p>コロナ禍前は、自治会館にて高齢者サロンを実施していた。コロナ禍になると、自治会館の部屋は狭いため、感染症対策の観点からサロンを中止せざるえなかったが、これにより、高齢者の外出や運動、コミュニケーションが少なくなってしまうている。このことから、自治会館の建て替えを検討しようとしたが、予算がなく、会長も毎年交代するため、建て替えの話が進まない。行政として、地域の方のコミュニティの場を整備できないものか。</p>	②	<p>【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>コミュニティセンターは、地域住民の連帯と地域コミュニティの醸成を目的として、各小学校区に市が整備した施設です。高齢者サロンの実施は、コミュニティセンターの設置目的に合致しますので、豊川北小会館「鐘の鳴る家」のご利用もご検討ください。</p> <p>自治会館については、建物の長寿命化工事に対して設計金額の3分の2以内・上限500万円で、市が補助金を交付しています。</p>
		—	<p>【地域創造部 地域活性化室】</p> <p>大阪大学箕面キャンパス跡地を活用する事業者の公募においては、地域住民の利便性向上や交流促進等につながる施設を配置する「地域貢献エリア」の整備を条件としています。</p> <p>現在、地域のかたが利用できる交流施設の整備など、具体的な整備内容について優先交渉事業者と調整を進めています。また、事業者との調整に当たっては、昨年10月以降、歴代の区長や自治会長、地元の代表者などに対し、説明会を数回開催するなど、地元の意向をできるだけ多く聴取し、事業に反映することができるよう努めています。</p>
6	<p>川合・山之口の土地区画整理について。物流倉庫などの景観を損ねる計画はやめるよう、市のほうから指導してほしい。また、大型商業施設や</p>	—	<p>【みどりまちづくり部 まちづくり政策室】</p> <p>【みどりまちづくり部 道路整備室】</p> <p>川合・山之口地区では、近年、高齢化や担い手不足により継続的な営農が難しい状況が予想され、地域の衰退や、無秩序な小規模開発に</p>

	<p>都市計画道路が建設されると他地域から多くの客が来るため、渋滞が起こるのではないか。</p>		<p>つながることが懸念されるなか、当地区の地権者の皆様が協力して、組合施行の土地区画整理事業を検討されています。</p> <p>土地利用計画案では、まちの活性化に向けて大規模商業施設や物流、業務施設の立地を検討されることに加えて、地区の外縁部には公園や緑地を配置するなど、周辺環境や景観に配慮しています。</p> <p>本市としても、商業エリア及び業務・物流エリアでは、緑地に関してまちづくり推進条例に係る規定より 10 パーセント上乘せして 15 パーセント以上の緑地を確保するルールを設けるなど、可能な限り緑を確保し、周辺景観や環境に配慮したまちづくりを進めていきます。</p> <p>交通渋滞に関しては、土地区画整理準備組合が交通量調査を実施し、その結果をもとに対策を調査、検討しています。</p> <p>さらに、市としても、土地区画整理事業における対策とともに、茨木市や大阪府、大阪府等の関係機関に対して課題解決に向けた働きかけを行っていきます。</p>
7	<p>里道の個人的利用について。勝手に木や花を植えている人がいる。市役所が許可を出したと言っていた。現状を確認してほしい。</p>	①	<p>【みどりまちづくり部 道路管理室】</p> <p>里道を個人的に利用することは認めていません。職員により当該箇所の現場確認は行っていますので、今後詳細調査を行い、適切に対応していきます。</p>
8	<p>自治会の文書について、非常に読みにくく分かりにくい。市から指摘することはできないか。</p>	ー	<p>【市民部 市民サービス政策室】</p> <p>ご指摘を受け、7月25日に自治会長に要望をお伝えしました。</p>